



# 谷藤利子の市政報告

ホームページURL <http://www.jcp-ichikawa.com/tanifuji/index.html>

日本共産党市川市議団  
谷藤利子個人版  
2011年6月29日 N058

連絡先:福栄2-1-1-713  
電話:398-5948

## 6月市議会一般質問

# 放射能汚染の対策強化を

定例6月市議会は6月24日に終了しました。谷藤市議は、東日本大震災を教訓にした課題と子育て支援について一般質問をしましたので、要旨をご報告します。

定例6月市議会は6月24日に終了しました。谷藤市議は、東日本大震災を教訓にした課題と子育て支援について一般質問をしましたので、要旨をご報告します。

福島原発事故によって高濃度の放射性物質が飛散し、福島県を中心に多くの住民が避難生活を余儀なくされています。この影響は千葉県にも及んでいます。

### 平常時の3〜10倍の放射線量でも安心なの？

市川市でも、子どもたちへの影響を心配する市民の声に呼応して、市内の公園や保育園、幼稚園、学校などで放射線量や放射性物質の測定をして、市のホームページで結果を公開しています。

市川市の放射線量は、毎時0.13〜0.44マイクロシーベルト、事故前の平常時の3〜10倍です。この測定値に対し、市川市は文部科学省の緊急事故後の暫定的な安全基準の上限、毎時3.8マイクロシーベルトに比べてかなり低い、「ただちに健康に影響はない」と言っています。これを受け、私は質問しました。

(一) 内部被曝への影響を心配せよ  
事故はいっ収束するのかわからない深刻な事態が続いている。空気や水、土壌、食糧から取り込まれる内部被曝の影響は5年後、10年後、あるいはもっと先になって出てくるわけで、「直ちに影響がない」から安心だと言うべきではない。平常時に戻るまで測定と対策を続けるべきではないか。

### (二) 放射性セシウムの影響は

南八幡浄水場や野菊の里浄水場の汚泥から県内で最も高い放射性セシウムが検出されている。また、菅野や福栄の下水処理場の汚泥からも検出されている。この影響はないのか。また、飲料水やプールの水から放射性物質は検出されていないが、日本の安全基準は低いと言われている。市としてはどのように認識しているのか。給食の食材については、県の農産物検査もまだごく一部。心配を解消できる検査がすすむのか。



## 保育園の第3子保育料無料化の存続を

昨年末、市独自の第3子以降の保育料無料化制度を廃止することを、いきなり保護者に通知。当事者は突然の一方的な通知に納得できず、制度存続を求めて、署名活動を行い、今年2月議会では全会一致で請願が採択されました。

2月議会で市長は、一年周知期間をとり、新たな子育て支援の制度設計をつくる。議会の皆さんのご意見もお聞きしながら慎重に進めてまいりたいとのことでした。

これを受けて私は、以下質問しました。

- ①市独自の制度を継続する検討はしているのか。また、検討するメンバーに当事者や保育関係者を入れないのか。
- ②制度の存続を願う保護者の声、議会での請願採択をどう受け止めているのか。
- ③国制度に移行すると、1億7千万削減できるというが、軽費削減が本当の目的ではないのか。
- ④議会採択を真摯に受け止めるというが、結局、存続はしませんということは、議会軽視ではないのか。

答弁は、結局、市独自の無料化を存続することは検討の対象にはないというものでした。議会採択も参考にするだけということか。納得できず！

(三) 測定箇所、方法、除染について  
雨水が浸透した後に放射性物質が貯まりやすい場所、例えば雨どいの下や芝生や砂場、側溝など、注意してやっているのか。また、公園の測定は市内5か所では少ない。測定する公園と個所を増やすべきではないか。除染もできる限りやるべきではないか。その際には、除染のいろはを徹底するべきだがどうか。

### (四) 測定結果と対策の周知を

市独自の測定と公表がかなり行われ、ホームページの「よくある質問」で市民の疑問に答えているのはよい。また、保育園、幼稚園、学校で、子ども達が日常生活で気をつけるべき基本的な事柄を指導すると同時に、大人全体の認識にするために、講演会や広報の特集なども含めて、徹底したほうが良いと思うがどうかと質しました。答弁では、水や汚泥、食材については県に働きかけ、市は放射線測定と公表、広報や講演会等で周知を続けることを明らかにしました。

# 液状化対策と行徳のまちづくり



**浦安の液状化は始めからわかっていたこと**

1973年に発行された千葉県企業庁の「千葉県の開発」という本の中で、浦安の埋立地の土地利用について国は、地盤が軟弱であるため、首都圏整備法に基づきグリーンベルト地帯、言葉を変えれば、近郊緑地保全地帯に指定する方向だったとしています。地下水が高く、同じ粒子の砂で埋め立てられた浦安地域の液状化は当初からわかっていました。

**行徳の一期埋め立ても浦安と同じ海砂によるもの**

行徳の一期埋め立ても浦安と同じように、海砂でほぼ埋め立てられています。



3月12日 岡田県議と液状化調査  
上はハイタウン塩浜 下は塩浜護岸

人が集中する町づくりについてはこの浦安の液状化被害を教訓に見直しをしなければいけないと思います。そこで、以下質問しました。

**臨海部はグリーンベルト地帯に見直しを**

京葉線塩浜駅前に、にぎわいのあるまちづくりが計画されているが、思い切ったグリーンベルト地帯を中心に見直しするべきではないか。

魚港については、臨海部特別委員会、市場のような施設を同時に整備しているところをいくつか視察し、これらを参考に整備計画がすすめられているが、これも、見直すべきで

また、仮称(行徳富士)地域の一角に計画されている市のコミュニティゾーンについては、今後地質調査を行い、十分検討するというのが、調査の公開はきちんと行うのか。

また、液状化想定マップの見直しをするというが、マップと同時に液状化災害を未然に防ぐために、横浜市

の液状化マップQ&A(左図)のようなパンフレット等で市民に周知しておくべきだと思いがどうかと質問しました。

## 横浜市の液状化マップQ&A

- Q1 "液状化現象"とは、どうなることを言うのか?  
 Q2 "建物を建てようと思っている土地が液状化しやすい地盤はどうしたらよいか?  
 Q3 "地盤が悪い場所は、ベタ基礎にしたら大丈夫だと言われていたが本当か?  
 Q4 "埋立地などの液状化しやすい地盤では、マンション等の中高層建物は大丈夫か?  
 Q5 "戸建て住宅では、どのような対策をすればよいか?  
 Q6 "埋立地は地震の時、地盤が液状化するので危ないと良く聞きますが、横浜の埋立地は地震に対してどの様な対策が取られているのか?"

## 東日本大震災の市川市の被害状況

- 【液状化による道路被害】 117ヶ所  
 【公園・緑地被害】 15か所 大町公園、曾谷山王公園等  
 【護岸・漁港被害】 行徳漁港の傾斜・構造物沈下等  
 【河川・下水道被害】 5か所 大柏川護岸、福栄地域など  
 【公共施設被害】 保育園21か所、小中学校52校、保育クラブ18か所、公民館7か所、他39施設  
 【民間施設の被害】 =住宅に限定した被害(申請による) 全壊9件、半壊2件、一部損壊218件、その他57件 店舗・工場 53件  
 【水道被害】 行徳地区で2800戸が断水  
 【室内閉じ込め被害】 救出4件

## 東日本大震災関連の市川市の予算(6月議会)

- ① **被災者及び避難者等への支援 【62,286千円】**
- ・亡くなった方への弔慰金、避難者の住宅や生活支援、
  - ・家屋・家財復旧の資金借入への利子補給及び災害援護資金の貸付、被災住宅のリフォーム助成及び耐震診断補助金増額
  - ・液状化等の被災家屋の固定資産税減免
  - ・高齢者・障害者世帯の家具転倒防止器具取り付けへの助成
- ② **道路や公共施設等の復旧 【796,702千円】**
- ・液状化等により破損した道路や公共施設、排水路、河川管理用道路、学校等の公共施設の復旧
- ③ **災害情報の確実な伝達 【2,405千円】**
- ・市川市ホームページからのメール配信の拡大、市域限定の携帯電話のエリアメール発信、広報いちかわ震災特集号の発行
- ④ **放射能対策 【2,520千円】**
- ・水の摂取制限に対する対応
  - ・放射能測定機器を2台購入、小中学校や幼稚園・保育園における大気中の放射線量の測定、小中学校のプールにおける放射能水質検査の実施
- ⑤ **電力需要抑制対策 【14,050千円】**
- ・自治会・商店会管理の防犯灯をLEDに切り替える補助